

第2回（仮称）矢吹町複合施設整備検討委員会

平成29年3月29日（水）午後6時～
矢吹町文化センター小ホール

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 出席者紹介

4. 議事

(1) 第1回検討委員会議事録

- ・事務局による説明の後、質問・意見等なし

(2) 設計プロポーザル結果について

委員：プロポーザルとは、コンペと違い、考え方や考え方のイメージを提示して、その考えをもとに設計者を決定するものである。決まった設計者はこの検討委員会にも参加してもらい、町の方の意見を受け止め、形にしていくものである。提案されている図について、この通りになるというものではない。形や配置についてはこれからこの会議で決めていき、図にしていく。

コンペではもっと詳しい平面図、立面図などによりこういう形になると示され、その形について審査するものであるが、プロポーザルは業者の能力を審査するものである。

- ・事務局から説明
- ・業者からプロポーザル提案について説明

(3) スケジュール修正案について

- ・事務局より説明

委員：プロポーザルで5番に決定したとの事で、この提案が中心になり町の複合施設設備が出来ていくのか。プロポーザルの意味が理解できていない。鈴木さん（業者）が提案されたものが基本となって複合施設が造られていくのか。

委員：そうではなく、基本は各委員の考えをもとに案が造られていく。資料に書かれている事が前提となって議論が進められていくと言う事では無い。具体的な計画案はまだなく、設計者が複合施設に対する思いを持って設計（提示）していると言うことであって、今回の資料は設計者を選ぶための提案書と理解して頂きたい。

委員：分かりました。

委員：前回のスケジュールをより具体的に、それぞれの施設について理解を深めながら全体像を議論していったらどうかという修正案である。図書館、中央公民館、子育て世代活動支援センター、観光交流センターについて検討していき、その都度全体像を考えながら議論を進めていきたい。

(4) 新しい複合施設のあり方 図書館について

スライドにて説明

委員：いろいろな自治体の新しい図書館について説明いただきましたが、佐藤委員から補足事項はありますか

- 委員： 図書館のアンケートについての説明はして頂けるのでしょうか。
- 事務局： 今日配布させていただいて、次第には入っていないが、佐藤委員の方からご説明頂ければお願いしたい。
- 委員： コーナーを作って利用者に自由に記載していただいた。複合施設建設に合わせて実施したわけではない。図書館をより良い環境にするためにアンケートを取った。集計した結果は町の方に報告している。
- かなり多くの方から意見をいただいている。図書館のこと、複合施設のこと、要望や職員の対応についても書いていただいている。季刊号図書館だよりが4月に発行されているので、アンケートについてNPO法人理事長がご挨拶しているので見て頂ければ。集計表の意見につきましてはそれぞれ回答を出して図書館に掲示し、HPでも見られるようにしている。
- 複合施設については、図書館ではお答えできないので教育振興課（生涯学習）の方に提出しており、町の方から回答を頂くようお願いしたい。
- 委員： 矢吹図書館の特色として委員に知っておいてほしいことがありますか？
- 委員： アンケートにもあるが、親しんできてくださった方が矢吹町図書館のいいところをそのまま伸ばして行ってほしいというところ。新しい図書館になることでなくならないようになど。広さや場所がこのままでいいということも。職員の対応については、感謝の言葉が多かった。お年寄りやお子さんがいる方から。おごらずに頑張っていきたいと思っている。
- 町民と一緒に造ってきている図書館を今後も継続していきたい。
- これから造るのであれば、もっと自由に、明るく、本だけではなく、色々なことが自由に出来るような図書館を目指していきたい。
- 委員： 図書館について意見があれば。
- 委員： 昔から図書館を利用している。様子を見てみると、午前中は、退職された方や子育てしている方が本を読んだり、子供を遊ばせたりしている。午後になると学生が入ってきている。就職者がゆっくり利用できる時間があればと思うが開館時間が合っていない。
- 図書館を利用する頻度が全国から比べると少ないので、あまり大きくても使い切れなくなるのでは。子供と利用する方の静と動の区分けをして、子育て支援との連携を取りながら考えて欲しい。
- 母と子がいろんな活動したり、楽しんだり出来るのを考慮して設計して欲しい。
- 委員： 図書館のバックヤード・倉庫・蔵は必要なのか。
- 委員： 必要です。開架書庫と閉架書庫
- 委員： 規模が606㎡と言うのは特定の場所だけなのか、全体を言っているのか。
- 委員： 全体です。
- 委員： 新しく建てるときに、現況の図書館よりもスペース的に大きくないと使えないので1.5倍くらい見ても1階の方が有効的なのか。2階の方が有効的なのか。どちらがいいのか。

- 委員： 2階になればエレベーターが無いと、妊婦さん、子供、お年寄りもいますので。
- 委員： 調理室などの中央公民館の機能を入れてほしい。そうなると、図書館は1階では厳しいのでは。
- 委員： スペースと収蔵をたくさん必要とするなら、今の1.5倍くらいは欲しいのでは。子供の遊び場は図書館の隣では難しいのか。図書館の隣に一緒にはできないのか。
- 事務局： 町としては一時的な預かりを考えている。
子供たちが居るとゆっくりサークル活動等が出来ない時などに預けて、その間に自分の趣味等を行って頂く。子育て世代の支援センターでもある。
個人的な意見だが、図書館の隣に子育て支援の部屋があれば、子供たちの様子を見ながら本を読むとか中央公民館の調理をすとか複合施設のメリットがあるのではないかと。
皆さんの意見を頂きながら、施設の配置を考えていきたい。
- 委員： 図書館単独で考えるとかなりのボリュームになるが、複合施設になると、うまく組み合わせることで、その分いろんな機能を入れることができる。運営も工夫できる。
- 委員： 問題になっているのが矢吹町の古文書的な物で中学校のD棟に保管され、電気も水道もない、夏は蒸風呂状態で、虫食いも進行している状況なので今度の複合施設の図書館の中に組み込まれれば、閲覧も出来て古文書管理も専門家の人に見ていただけるし、それもいいのかと考えている。3月議会でも資料館の陳情が出され、採択されたが具体化されていないので複合施設に入るといいのかと。
- 委員： 今日は、そういうことがあると言う事を出して頂き、全体の面積、スタッフ、町としてどう対応していくか。……？
- 委員： 光南高校の子供達が、バスを乗る方法として東口からではなく、西口から発着して、帰りは図書館経由で西口に行くと光南高校の子供達にとっては便利では。西口に大型バスは入れるが、タクシーなどが来ると動きが取れないので、西口がこのままでいいのか。大型バスの駐車場を兼ねたスペースにすると良い。
まちづくりを見ていると、ポツンポツンとやっている。屋台蔵は町の真ん中に大きいのを作ると観光的にもいい
- 委員： 今度施設を造る際は施設だけではなく利用者の交通のことを考え、町づくりの観点をからめて活かしていく。街中居住や拠点づくりがテーマでありますから、絡めて活かしていきたい。まちづくりは道づくり。奥州街道沿いに少しずつ点を作って、それをどのように繋げていくか。あの道全体、歩いているとまちの魅力が見えてきて、その中心に複合施設がある。そういうとらえ方をしていけたら。
- 委員： 新しい図書館の説明でもあったように、こういう流れになってきているということは承知している。貸し借りだけの図書館ではなくあらゆる分野に利用できる図書館として整備できれば。

先日小布施町に行く機会があったが、小道をつかったまちづくりなんだろうなど。

委員：（プロポーザルの資料を見ながら）・・・このようになるんですか？

委員：ほかの施設と合わせて図書館に置くかはこれから。

6社のヒアリングで6社共に1階2階両方希望（静かな所と賑やかな所、子供の世界と大人の世界に分ける案）。ワンフロアは少人数で管理ができ、目が届きやすい。

委員：再確認させてください。

今の図書館は壊さないのでしょうか。

事務局：壊す、壊さないも皆さんで検討して頂く。中央公民館は耐震的なこともあり壊します。

委員：図書館も公民館も壊すと情報が入っていたので、もったいないと思った。町に資料館が欲しいという事で動いている。

委員：何階建てか決まっていますか。

事務局：具体的にはまだ。基本構想では平屋もしくは、一部2階建となっているが、事業費の関係もある。構想としては、3000㎡で考えている。

現在の延べ床面積は、中央公民館が1200㎡。図書館が600㎡。合わせて1800㎡です。

委員：3000㎡欲しければ2階にしないと無理。

委員：設計の話になると長くなってしまいますので、貴重なご意見としていただきます。

必要な機能をどのように入れていくか、共用のスペースをどのように生かしていくか。運営上できることもあれば、できないこともある。十分に意見を追加していく。

委員：予算は国からくる予算なのか。

町の予算の部分がもっと要望が強ければ、余裕があるのか。あるのであれば、2階でも3階でもすればいいし、立派な後世に残る物を造らないと、半端なものでは委員が批判を受ける。言いたいことが沢山ある。テナントを入れて人が沢山来れば・・・

委員：あと3回くらいでそれぞれの施設について議論いただいて、面積や予算の中でどういう施設、部屋構成にするか、総合的な要望を出し合った後にまとめの機会を持ちたい。

委員：図書館は2階でも大丈夫だが、2階にするとスタッフの数が欲しい。

委員：自由に2階に行っては駄目なのか。

委員：自由に2階に行ってもらって良いが、2階にもスタッフが居ないと何か聞かれたときに1階に来ないといけない。

委員：図書館は利用者と本・資料を結び付けるのが本来の機能。結びつけるのが職員。空間の繋がりがあればいいのか。2階に分けるのであれば、それなりの空間構成があるかどうか大きなテーマ。ワンフロアでまとめるなら全体が収まる計画が出来るかどうか、が検討しなくてはならない。

委員：ルーラル電子図書館、矢吹の図書館にはPCでの機能はないのか。

- 委員： 閲覧用のパソコンは2台あります。
- 委員： 必要だと思いますか？
- 委員： 必要になってくるのではないのでしょうか。
- 委員： 今すぐでなくても。インターネットで情報がとれるような機能は必要であると思う。ルーラルとは中身を農業に特化したもので、農業だけでなく他のものも。
- 委員： 予算について枠があります。皆さんが要望することで事業費がどんどん大きくなっていくのは大変厳しい話。一つの枠があって機能的な効率的な施設整備が必要である。課題、問題である。頭に常においていただいていたきたい。
- 委員： 今日を入れて3回くらいはあれも必要、これも必要でいい。そのあとに整理する段階があります。それは皆さん了解して頂いて。最初から意見をセーブすると何も言えなくなってしまう。今日は決める会じゃなくて、出し合う会。国立競技場は出すだけ出して、整理しないでこのまま来てしまった。整理して設計の段階に入っていく。
- 委員： 望ましい図書館とは。
- 委員： もっと自由な空間、親子で交流したり、講演会をやったり、光南高校の先生と生徒に来てもらって、科学遊びを実施している。狭いのでその都度机を移動したりしている。本を読んだり、調べたり好きになるのに遊びが必要。
- 委員： 縦割ではなく横の繋がり。今の話は生涯学習ですからね。
図書館と生涯学習が融合して行って欲しい。
- 委員： ピアノが置いてあったりすると何かあったときに使える。
- 委員： ほかの所だと、図書館とは静かな空間だという意見が出てくる。
ですが、今出た意見、姿を实践するのも構想。
- 委員： 図書館がうるさくてはいけないんですね。
- 委員： スペースが無いので少し声を出すと、「注意して下さい」と言う話が出る。
そうなると話せなくなる。
- 委員： 話せる場所が欲しいのでは。
- 委員： 静かな場所と、賑やかな場所があってもいい。
- 委員： 読み聞かせなどが出来る場所があるといい。
- 委員： 寝ころんでもいい部屋もいい。
- 委員： フリーな部屋。
生涯学習で共有出来ると。
- 委員： 利用時間帯が違うかもしれないのでそれも合わせてトータルで考えていきたい。
- 委員： WSの考え方を聞きたい。
- 事務局： WSと表記されているが、検討委員会が中心とした中で、WS等で意見がほしいということであれば、WSや説明会などを実施していきたいと考えている。

委員： 最後は報告書という形でまとめて、考え方を示すようにしたい。それは検討委員会を中心としていきたい。今後も図書館の話をしてはいけないというわけではないので関連して協議をしてほしい。

(5) 第3回検討委員会（先進地視察）について

・事務局で説明・・・候補日：4/15（土）、16（日）、22日（日）

場所：栃木県茂木町図書館もしくは南相馬市図書館

・日程を調整して委員にお知らせする。